

和木小学校コミュニティ・スクールだより

# 緑の風



令和8年・3月号

ホーム <http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/> E-mail [wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp](mailto:wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp)

## 1年間ありがとうございました

校長 福江大幸



和木小学校では、今年度、「表現力と積極性の育成」を重点目標と考え、「丁寧な指導すること」「任せ・見守ること」を方針として、保護者・地域のご支援をいただきながら取り組んで参りました。ご協力ありがとうございました。

授業を仕組む際、子どもたちには意欲的・主体的に取り組む姿を期待します。そのためには与えられた学びではなく、目的意識をもった授業展開が大切になります。本時のねらいの板書や本時の振り返りの充実はまさに個々の課題学習からのアプローチです。自分なりの取組で追究し、自分の納得のいく学習経験を積むことで、子どもたちは学びの充実感や自信を獲得していきます。これこそが豊かな学びであり、今後生きて働く確かな学力につながっていきます。このようなメタ認知のある授業を追い求める教師集団を我々はめざしています。

そこで、本年度は研修テーマを「こどもまんなかの授業づくり」とし、サブテーマに「共に学び合い、伝え合う授業を通して」を設定して、研修に取り組んできました。学校評価アンケート「授業を楽しんでいる」に対する肯定評価は、教職員 91%、保護者 91%、地域 85%、児童 87%でした。ICT 機器の利活用や振り返りの充実等により、児童の学びに主体性が現れるなど、授業改善の成果が出ていると考えています。また、授業を中心に様々な教育活動において発表の場をつくり、話そうとする雰囲気づくりに努めてきました。引き続き『学び合う・教え合う・助け合う・励まし合う』学びを重視し、表現力と積極性の育成に努めていきます。

そして、今年度は子どもたちが主体的に町づくりや学校運営に関わるきっかけとして『こどもまんなか』による、挨拶あふれる和木町をテーマとして、地域住民や保護者との熟議を行いました。子どもたちが地域住民の声を聞き、自分たちの意見を届ける機会を得たことで、「地域への誇りと愛着」をもつことにつながっていくことに皆で気付きました。この熟議をきっかけに、校内では運営委員会と生活委員会が協働し、子どもたちのあいさつをさらに良いものにしていくべく、「あいさつレベルアップ運動」を行うことになりました。今後の更なる展開につながるよう、子どもたちの意識を高く保っていくために全町体制で指導にあたっていくことが今後の課題です。

こうしてふり返ると、本年度も校内一致の体制のもと、子どもたちの成長のために教職員一丸となって取組を進めてきましたが、その背景にはいつも、温かいご理解をいただいた保護者の皆様、さまざまなご支援をいただいた地域の皆様、和木町教育委員会をはじめ行政の方々、様々な民間の方々の存在がありました。皆様との関わりの中で、子どもたちはふるさとに伝わる文化や、ふるさとの良さを実感し、「誇りと愛着」をもっていくことにつながると確信しています。

今後も、学校・家庭・地域が一体となった取組が子どもたちや和木町の成長に資するものとなることを願うとともに、各関係の皆様から感謝申し上げます。



## 和木小コミスクひろば



2月21日(土)3年生が「日米合同コンサート」に和木町代表で参加しました。米海兵隊岩国航空基地の周辺住民の方々と在日米軍人・軍属及びその家族が、スポーツ・音楽・文化交流を通じて相互理解を図ることを目的として、コンサート等の日米交流事業を実施しています。

歌の発表はもちろんのこと、2度の合同練習やコンサート後の交流会等、子どもたちにとって有意義な国際交流の時間となりました。

